

第1章 計画改定の背景

1. 地球温暖化の現状
 - ・地球温暖化の現状と要因
 - ・地球温暖化の予測・影響(影響例、適応の必要性)
2. 国内外の動向
 - ・国際的な動向(COP30決定、NDCの提出など)
 - ・国内の動向(地球温暖化対策計画、気候変動適応計画、熱中症対策実行計画、第7次エネルギー基本計画など)
3. 前計画の点検・評価
 - ・施策の実施状況と目標の達成状況

第2章 計画の基本的事項

1. 計画改定の趣旨
 - ・社会情勢変化への対応
 - ・地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第3項及び気候変動適応法第12条に基づく法定計画
 - ・福岡県環境総合ビジョン(第六次福岡県環境総合基本計画)の部門計画
2. 対象とする温室効果ガス
 - ・CO₂、CH₄、N₂O、HFC_s、PFC_s、SF₆、NF₃
3. 計画の期間
 - ・2027年度～2040年度
4. 基準年度、削減目標の年度
 - ・基準年度：2013年度
 - ・削減目標の年度：2030年度、2035年度、2040年度、2050年度

第3章 福岡県の地域特性

1. 自然的条件
 - ・地勢、気候(平均気温・降水量・短時間強雨など)
2. 社会的条件
 - ・人口・世帯数、産業構造、自動車登録台数、公共交通機関利用状況、再生可能エネルギーの導入状況など

第4章 温室効果ガス排出量・吸収量の現況推計・将来推計

1. 現況推計
 - ・温室効果ガス排出量の推移
 - ・二酸化炭素排出量の推移
 - ・エネルギー消費量の推移
 - ・吸収量の推移
2. 将来推計
 - ・目標年度における現状趨勢ケースの排出量
 - ・目標年度における対策ケースの排出量
 - ・目標年度における吸収量

第5章 温室効果ガス排出量の削減目標

1. 目標設定の基本的な考え方
 - ・国の方針を踏まえた目標設定
 - ・県民、事業者、行政の主體的な取組による地球温暖化防止への貢献
2. 温室効果ガス排出量の削減目標
 - ・2030年度：2013年度比で46%以上削減
 - ・2035年度：2013年度比で60%以上削減
 - ・2040年度：2013年度比で73%以上削減
 - ・2050年度：ネット・ゼロの実現
3. 温室効果ガス別、その他の区分ごとの目標

第6章 地球温暖化対策(緩和策)

1. 施策体系
 - ・温室効果ガスの排出削減
 - 再生可能エネルギー等の導入拡大・利用促進/省エネルギー対策の強化/温暖化対策に資する取組の促進/CO₂以外の温室効果ガス排出削減の推進
 - ・吸収源対策
 - 森林の保全/都市の緑化/ブルーカーボン/二酸化炭素回収・貯留/農地土壌炭素吸収源対策
2. 地域特性を踏まえた対策の方向性
 - ・県内4地域(北九州、福岡、筑豊、筑後)の対策の方向性
3. 福岡県における緩和策の取組
 - ・各主体の取組(福岡県、県民、事業者、国)

第7章 地球温暖化対策(適応策)

1. 施策体系
 - 農林水産業/水環境・水資源/自然生態系/自然災害・沿岸域/健康/産業・経済活動/国民生活・都市生活/分野を横断した施策
2. 気候変動の影響(現況・将来)
 - ・既に現れている気候変動影響
 - ・将来懸念されている気候変動影響(7分野別)
3. 地域特性を踏まえた対策の方向性
 - ・気候変動影響評価結果
 - ・福岡県が今後重点的に取り組む分野・項目
4. 福岡県における適応策の取組
 - ・各主体の取組(福岡県、県民、事業者、国)

第8章 計画の推進体制・進行管理

1. 計画の推進体制
 - ・多様な主体の連携による推進
 - ・庁内及び関係組織による推進体制
2. 計画の進行管理
 - ・取組状況の点検・評価・公表
 - ・施策への反映と計画の見直し